

大口式インプラント埋入方法

今年の話題はなんと言っても大口式インプラント埋入方法につきると思います。当院でもこの方法を導入後、患者さんのインプラントに対する印象がまったく変わってきました。ご自分の顎の骨をドリルで削られることを思い浮かべてください。考えてみてもぞっとしますよね。でも今まではこれをしなければインプラントを入れることは出来ませんでした。

しかし、大口式は違います。0.5mmの細い千枚通しのような針をだんだん太いものに変えていきます。最後にインプラントと同じ太さに広げてインプラントを入れます。患者さんの側から見るとまずドリリングの時には血圧がどんどん上昇していったのに、この方法だとまったく血圧が変化しません。また、この器械による骨に対する刺激がインプラントを入れる周囲にかかるためにその場所が活性化され、インプラントの定着も良く傷の治りもすごく良いみたいです。また、術後の痛みや腫れも非常に少なく感じます。

私も今年はこの方法を伝授すべく、師範として大口式インプラント埋入法の講習を一月に3回ずつおこなわせていただいています。どこの会場でも満席で受講生の歯科医の先生方の関心の高さがうかがわれます。他の場所から骨を移植するのではなく、ご自分の薄い顎の骨を広げたり、ぼそぼそのところを固めて硬くしたりするこの方法は、骨を決して削り飛ばさないエコの精神につながる匠の術式であると思います。来年もがんばってこの術式の普及に努めたいと思います。

大口式インプラント埋入方法によるインプラント治療にたいしてのカウンセリングはこの書をお持ちの方に限り無料とさせていただきます。いつでも何なりとご相談ください。

デンタルデザインクリニック 院長 鈴木 光雄

冬休みのお知らせ

2010年12月27日より2011年1月4日までお休みをいただきます。